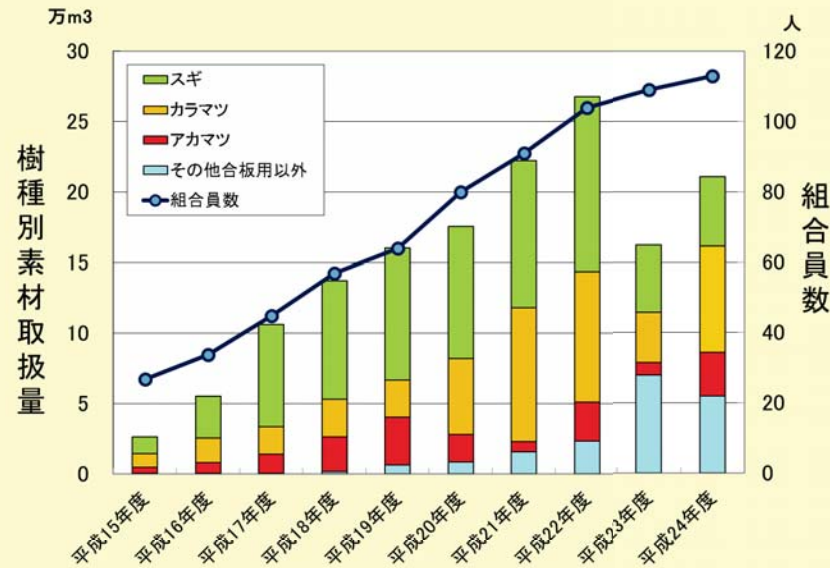
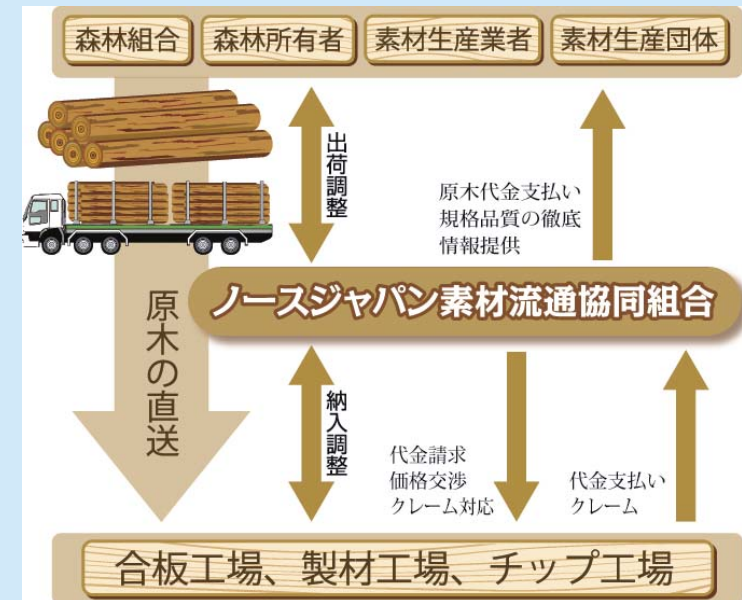


# 重機での地拵、低密度植栽による低コスト再造林の実証とコンテナ苗の植栽

ノースジャパン素材流通協同組合  
経営企画部長 外館聖八朗

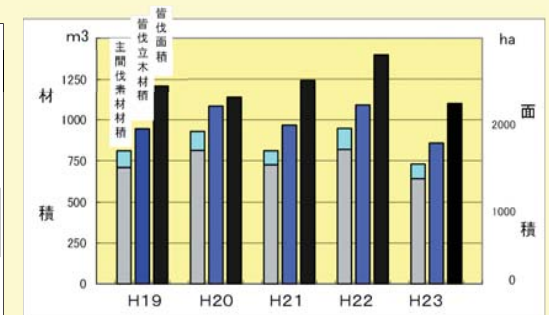
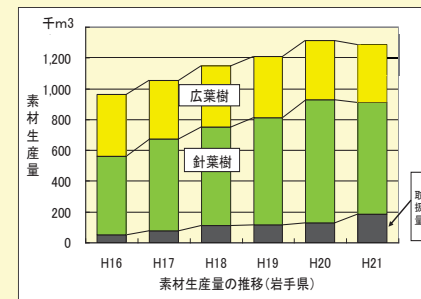
## 1 はじめに



素材取扱実績と組合員数の推移

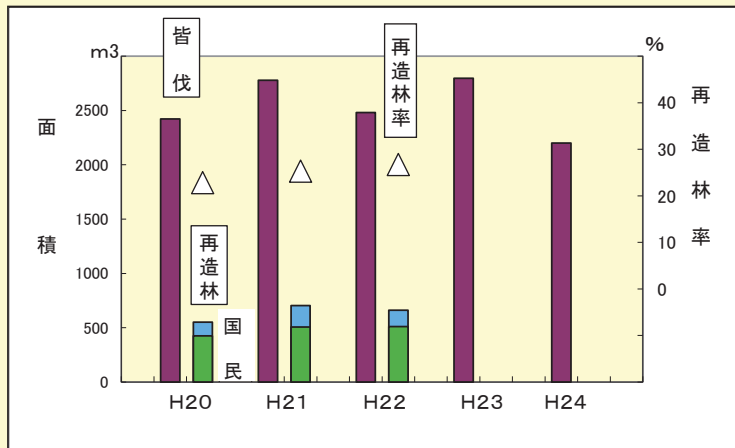
## 2. 素材生産に伴う伐採面積と再造林率

岩手県での針葉樹林の皆伐面積 (H20、21年度、民+国有林)  
年間約2,700~2,800ha



岩手県での再造林率 25% 前後 (H20~22年度)  
(推定値)

↓  
伐採跡地の4分の3は 天然性広葉樹林化



5

### 3. フォレスト再生モデル実証事業 (低コスト再造林) への取組

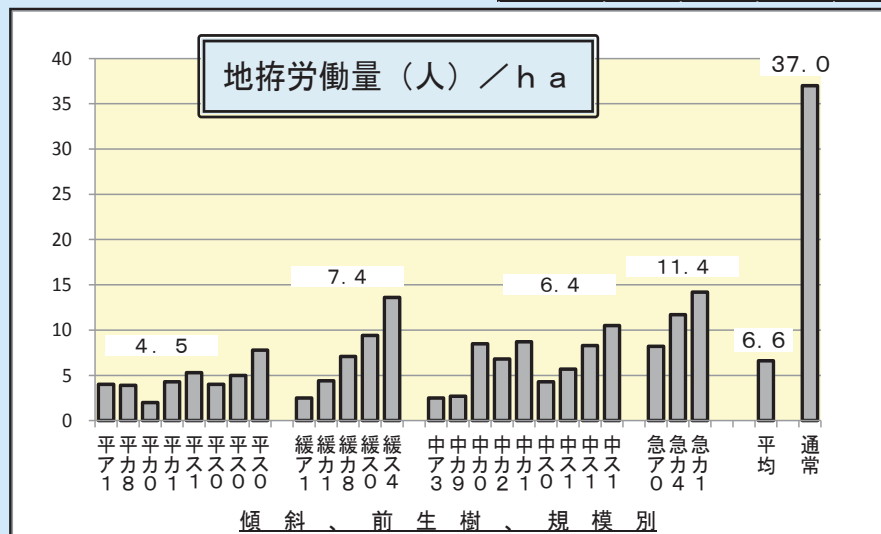
年度	実施方針	協力要請事項	実証箇所数
H21	低コスト再造林の可能性検討	①重機使用による地拵 ②低密度植栽 (カラ 1,500本/ha) ③大苗植栽 (下刈期間短縮)	1
H22	低コスト再造林の実証	①重機使用による地拵 ②低密度植栽 (スギ 2,200本/ha目標) (カラ 1,980本/ha目標)	6
H23		①重機使用による地拵 ②低密度植栽 (スギ 2,000本/ha以下) (カラ 1,500本/ha以下) ③可能なコンテナ苗を植栽	10
H24		①重機使用による地拵 ②低密度植栽 (スギ 2,000本/ha以下) (カラ 1,500本/ha以下) ③コンテナ苗を植栽	9
計			26



6

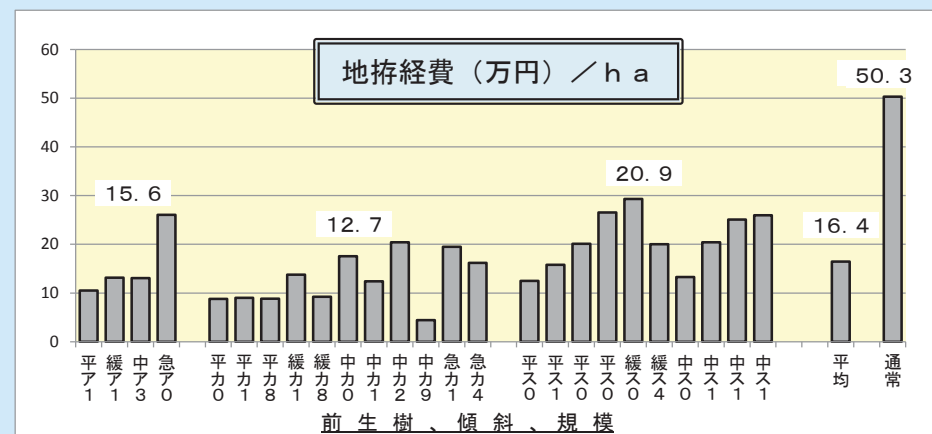
### 4. 取組結果 (地拵作業)

傾斜 (度)	平	緩	中	急
	0~5	6~10	11~20	21以上
前生樹 (伐採樹種)	アカマツ	カラマツ	スギ	
規模 (作業面積ha)	0	1	2	3
	0.0~9.9	1.0~1.9	2.0~2.9	3.0~3.9



7

### 取組結果 (地拵作業)

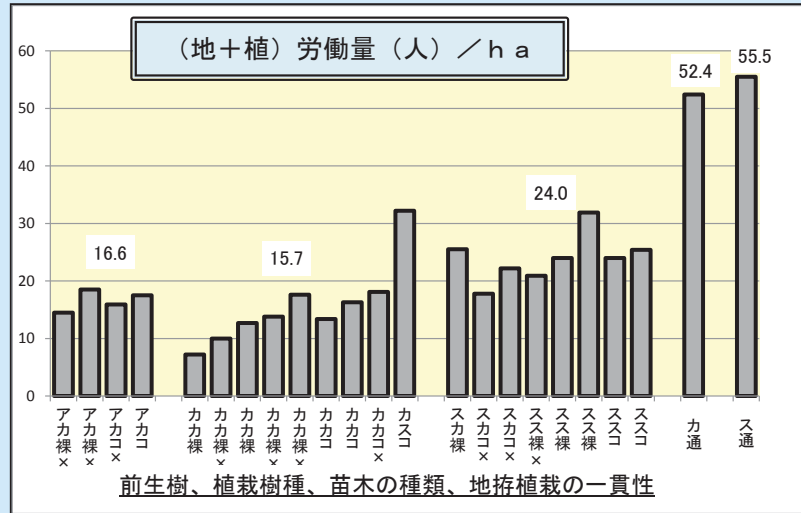


8



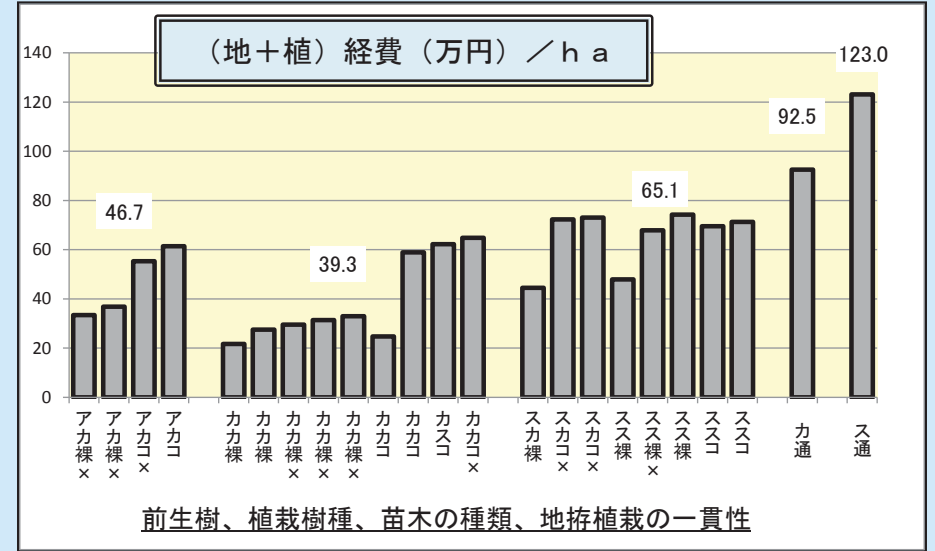
## 取組結果（地拵+植栽）

前生樹 (伐採樹種)	ア アカマツ	カ カラマツ	ス スギ
植栽樹種	カ カラマツ	ス スギ	
苗木の種類	裸	コ	
植栽本数	表示数値 × 100本/ha		
地拵植栽 一貫性	地拵と植栽を異なる事業者が実施したとき、 「×」を表示		



13

## 取組結果（地拵+植栽）



14

## 5. コンテナ苗植栽の得失

### 利点

(1) 植栽時期が広範囲

	5月	6月	7月	9月	11月	計
	上	下	上	下	中	
スギ	2	1				3
カラマツ		1	2	3	1	8

(2) 植栽作業の容易性と活着の確実性



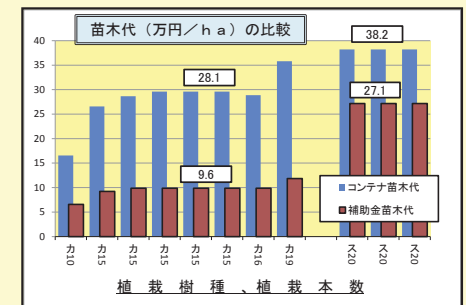
15

(3) 雑な地拵地でも植栽可能



### 欠点

(4) 高い苗木代



16

(5) 植付用道具の未整備、改良

・植付器具

・林内での運搬用具



17

6. 低コスト再造林の課題と方向性

- (1) 作業の一貫実施（連携の強化）
- (2) 下刈作業まで含めた低コスト化
- (3) 低コスト作業の受入れ醸成
  - ・森林成立の実証呈示
  - ・森林所有者、林業作業者の理解
- (4) 再造林実施地の土地（地形）区分
  - ・天然更新の推進
- (5) 補助事業でのコンテナ苗単価の設定

ご清聴ありがとうございました

18